

～宗教改革500周年に因んで～

今年はマルティン・ルターが95ヶ条の提題をヴィッテンベルクのシュロス教会の扉に貼り付けた1517年からちょうど500年で、「宗教改革500周年」と位置付けられています。ルター正統派の信徒であったバッハにとってはルターが作詞／作曲したコラールは音楽上の重要な源泉であり、それらを基に多くのカンタータ作曲やコラール編曲を行っています。今回はルターの古雅で力強いコラールがバッハにより壮大かつ雄弁になったカンタータをご紹介します。

✿ 独唱者プロフィール ✿

藤井 冴 Fujii, Sae (ソプラノ)



愛媛県松山市出身。東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修士課程声楽（オペラ）専攻を、大学院アカンサス賞を得て首席修了、また博士後期課程声楽（オペラ）専攻を修了、音楽博士号取得。岩谷時子音楽文化振興財団、2014年度「岩谷時子Foundation for Youth」を受賞。三菱地所音楽賞受賞。よんでん文化振興財団奨学生。第27回市川市新人演奏家コンクールにて優秀賞を受賞。第58回藝大オペラ定期公演「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、第59回同公演「秘密の結婚」カロリーナ、第61回同公演「フィガロの結婚」バルバリーナを演じる。また、文化庁文化芸術推進事業によって新国立劇場オペラパレスにて行われた、藝大オペラ特別公演「秘密の結婚」にも同役で出演。その他にも「リゴレット」ジルダ、「ウェルテル」ソフィー等を演じる。第61回「藝大メサイア」、その他にもベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、ヴィヴァルディ「グローリア」、ペルゴレージ「スターバト・マーテル」などのソリストも務めている。また女声アンサンブルグループ「Jソロイスツ」のメンバーとして、旧奏楽堂等での演奏会に出演している。これまでに市村公子、島崎智子、菅英三子の各氏に師事。

山下 裕賀 Yamashita, Hiroka (アルト)



京都府出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。学部卒業時に同声会賞を、同大学院修了時にアカンサス音楽賞を受賞。第23回友愛ドイツ歌曲コンクール学生の部奨励賞受賞。第21回コンセル・マロニエ21第1位。G.ビゼー「カルメン」にてメルセデス役、第61回藝大オペラ定期公演 W.A.モーツァルト「フィガロの結婚」にてケルビーノ役で出演。宗教曲では、朝日新聞厚生文化事業団主催第64回チャリティーコンサート「藝大メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」等にてアルトソリストを務める。声楽を、藤花優子、伊原直子、菅英三子の各氏に師事。宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連新進演奏家国内奨学金制度奨学生。現在、同大学院博士課程オペラ専攻1年次に在籍中。

沼田 臣矢 Numata, Shinya (テノール)



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、東京藝術大学大学院古楽研究科に在学中。東京藝術大学バッハ・カンタータ・クラブの指揮者を現在務めている。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、川上洋司、野々下由香里の各氏に、指揮を田中良和に師事。これまでにG.F.ヘンデル「メサイア」「プロクセス受難曲」、J.S.バッハ「マタイ受難曲」「ミサ曲短調」「マニフィカト」「クリスマスオラトリオ」そして教会カンタータなど、宗教音楽のソリストを務める。アンサンブルリストとしてハルモニア・アンサンブル、Vocal Consort、モーツァルトアカデミートウキョウ、バッハ・コレギウム・ジャパン等に出演。2015年より若手の声楽家と古楽器奏者から構成されるノヌラマクタラ室内楽団を結成し主宰と指揮を務める。NHK「ららら♪クラシック」にモデル合唱団として三度出演。特に作曲家・平川加恵による新作委嘱作品「石川啄木の詩（うた）による混声合唱組曲～ピアノと混声合唱のための～」の初演は好評を博す。J.S.バッハの作品を演奏する企画も継続中。

松田 亜蘭 Matsuda, Aran (バス)



神奈川県出身。カナダのマニトバ大学音楽学部声楽科卒業。モントリオールのマギル大学大学院音楽学科声楽科卒業。声楽を山田雅利、Mel Braun、Robert MacLaren、Sanford Sylvan、佐々木正利、Stefano Algieriの各氏に師事。2009年、ウィニペグ音楽祭にて声楽グレードA部門優勝、ローズ杯獲得。同年3月、ウィニペグ交響楽団とソロ出演。2010年3月、ウィニペグにて「ヨハネ受難曲」のイエス役を務める。11月には同地のバロック・アンサンブル「カンゾナ」のバッハ「マニフィカト」バス・ソロを務める。2012年7月にはウィーン郊外のバーデンにおけるSchubert Institut（ドイツ歌曲夏期講習）において、ヘルムート・ドイチュ氏、エリー・アーメリンク氏らの公開レッスンを受講した。同年9月にはバッハ・コレギウム・ジャパンのヨーロッパツアーに参加した。オラトリオは他にもモーツァルト、フォーレ、デュリュフレ「レクイエム」、バッハ・カンタータBWV4、21、36、37、39、93、194、235のバス／バリトン・ソロ。オペラにおいては「カプレーティ家とモンテッキ家」カペッリオ役、「ヘンゼルとグレーテル」父親役、「フィガロの結婚」題名役などを務めた。盛岡バッハ・カンタータ・フェライン会員。